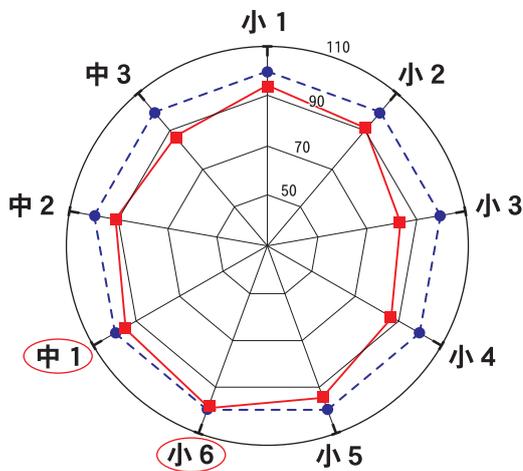


令和7年度 標準学力検査・総合質問紙調査結果

本町で毎年実施している「標準学力検査（CRT検査）」および「総合質問紙調査（i-check）」の結果についてお知らせします。なお、本調査は町内の小学校1年生から中学校3年生までを対象に実施したものです。

1 標準学力検査(CRT検査)結果



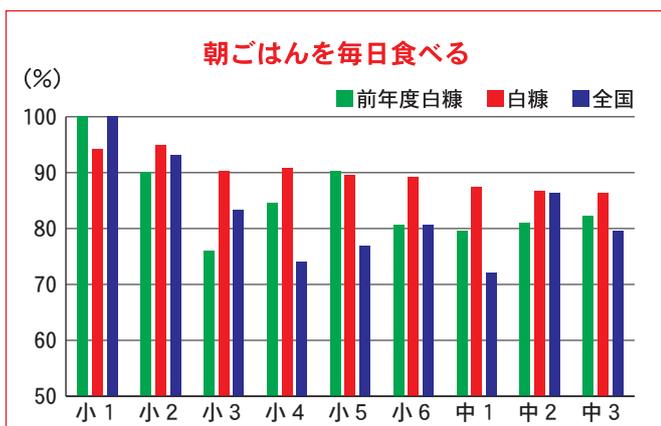
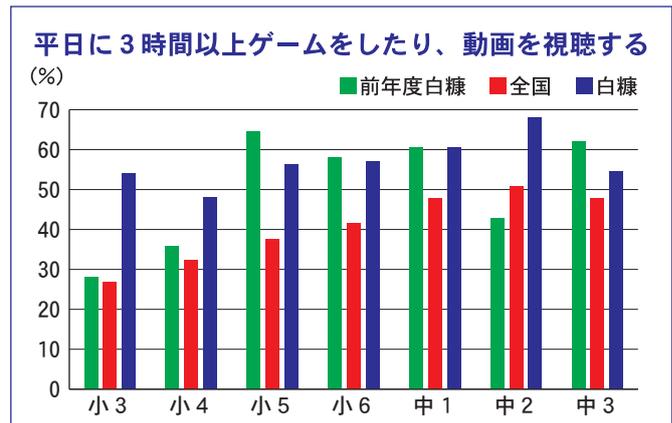
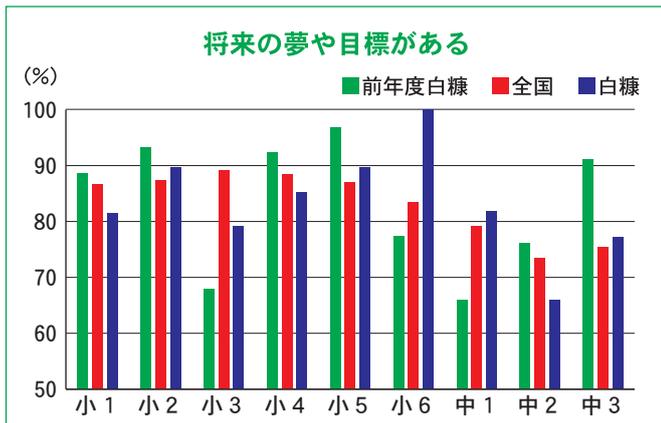
全体の成績で目標値に達した学年はまだありませんが、小6と中1が目標値まであとわずかのところまで迫っています。

特に英語では、小6、中1などで目標値を上回る成果が出ており、国際化に対応した学びの成果が表れています。前年度と比較した経年変化では、小2、小4、小6、中1、中2の5つの学年で成績が上昇しており、子どもたちの努力が着実に実を結んでいます。

学力向上には「わかったつもり」をなくすことが大切です。記述問題への挑戦や、テストで間違えた部分をそのままにせず「やり直し」をする習慣を学校と家庭が連携して育てていきます。

小1、小2は国語と算数の2教科、小3、小4は社会と理科を加えた4教科、小5～中3まではこれらに英語を加えた5教科を実施しています。

2 児童生徒質問紙調査(i-check)結果



総合質問紙調査では、全学年のうち小2、小5、小6、中1、中3で「将来の夢や目標がある」と回答した割合が全国平均を上回っており、特に小6は100%が夢を持っているという結果でした。

また、小1の100%が毎日朝食を摂るなど良いスタートを切っていますが、その他の学年では朝食摂取率や平日のメディア利用時間（動画視聴やゲーム）に課題も見られます。子どもたちが健やかなリズムで生活できるよう、ご家庭でのルール作りなど温かな見守りとご協力を引き続きお願いします。

3 今後に向けて

今回の調査結果を基に、学校では一人一人の回答状況を詳しく分析し、それぞれに合ったきめ細やかな指導に努めます。町子どもたちが、自信を持って自分の夢を語り、自ら学びを深めていけるよう、これからも学校・家庭・地域が手を取り合って見守っていきましょう。

【問合先】教育委員会指導室 ☎ 2-2171 内線 (266)

